

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL http://www.saidenkyo.jp/
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

さいのかがやき

第192号

令和2年11月25日発行

発行人 岡村一巳

編集人 広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

中長期計画 粛々と実行 令和2年度定時総会を縮小開催



岡村会長

当協会では、2020年度定時総会を新型コロナウイルス感染防止の観点から建産連会館内での縮小開催とし、5月28日、任期満了に伴う役員改選など3議案が承認され、事業計画など報告4件を確認いたしました。定時総会後の理事会にて互選を行い岡村会長の3期目続投を決めました。

議事では、まず前年度の会務報告や収入・支出決算、役員改選の計3議案を審議し承認。また本年度の事業計画や収入・支出予算、本年度から2年間の会費積算、共同購買事業の計4件について報告しました。

なお事業計画には、会員企業に課せられている問題に対応するため、必須となる事業に取り組む考えを示し、そのほか2030アクションとして、各委員会での問題解決に向けた事業を検討し、これから10年間で成果が得られるよう継続事業として進めていく予定です。

【新役員】

役職名	会 員 名	代表者
会 長	(株) 岡 村 電 機	岡村 一巳
副 会 長	(株) 電 成 社	山口 裕
副 会 長	相 馬 電 業 (株)	古小高 収
副 会 長	埼 玉 電 設 (株)	川合 昭
副会長・さいたま支部長	(株) 積 田 電 業 社	積田 優
相談役・東部支部長	(株) 大 広 電 気	熊田 弘信
常 任 理 事	熊 谷 電 機 (株)	小林弥寿弘
理事・総務委員長・南部支部長	内 山 電 設 (株)	内山 祥章
理事・企業対策委員長	(株) 橋 本 電 工	橋本 幹男
理事・技術研究委員長・西部支部長	(株) 市 之 瀬 電 設	市之瀬正靖
理事・事故防止対策委員長	(株) イートラスト埼玉	山本 和利
理事・広報委員長・北部支部長	(株) 躍 進 電 気	矢嶋 博和
理事・人材育成委員長	佐 野 電 機 (株)	佐野雄一朗
理事・総務副委員長	(株) 八 洲 電 業 社	吉村 光司
理事・企業対策副委員長	ニチデン技術サービス(株)	眞輪 栄治
専 務 理 事	一般社団法人 埼玉県電業協会	荒川 清江
監 事	(株) お ぎ で ん	荻野 勝治
監 事	那 須 電 機 工 業 (株)	相馬 宏彦

役員互選では、岡村会長の再任を決めましたほか、熊田弘信副会長を相談役、積田優氏を副会長。また山本和利氏が事故防止対策委員長に選ばれました。

災害復旧対策講習会開き意識高揚 『防災減災へ備える』

9月28日、防災体制づくりの参考とするため災害復旧対策講習会をさいたま市南区の建産連研修センターで開催。関東地方整備局の災害対応について話を聞きながら、防災知識の向上に努めるとともに減災対策のための参考としました。

開催に際し岡村会長は、コロナ対策として会場の定員を50%としたほか体温計測、マスク着用、十分な換気でこの講習会を開いたことを説明。続けて「コロナ禍でも災害は待ってはくれません。減災のために出来ることは私たちも考えねばなりません。協会では県知事と「災害時における電気設備等の応急対策業務に関する協定」を締結して以降、現在も関係19カ所との細目協定に沿って災害に備えています。今日の講習会を災害対応の参考としていただければ」とあいさつ。



遠藤室長

第1部では国土交通省関東地方整備局災害対策マネジメント室長の遠藤武志氏が『関東地方整備局の災害対応について』と題して講演。東日本大震災や今年の台風19号など過去10年の主な自然災害を列挙し、これに比例して災害対策本部の設置数が増加傾向にあるとしました。それらを踏まえ局がどのような防災・災害対策を行っているかTEC-FORCEの活動を中心に説明。

建設業団体との連携による応急復旧や協力要請の流れ、関係業界団体との協定状況、事業継続力計画の認定状況に触れました。

最後に山本和利事故防止対策委員長が閉会の言葉を述べ、会を締めくくりました。

令和2年度優秀安全管理者被表彰者名簿(敬称略)

会 員 者 名	被 表 彰 者
大 塚 電 設 (株)	大塚 実
島 村 電 業 (株)	増田 稔
(株) ま つ も と 電 機	丹波 真和
三 位 電 気 (株)	川島 忠
(株) イートラスト埼玉	伊達 直彦



受賞した優秀安全管理者の皆さん



「彩の耀」に寄せて



北本市長

三宮 幸雄

「彩の耀」第192号のご発行を心よりお喜び申し上げます。

日頃より、一般社団法人埼玉県電業協会の皆様には、電気設備産業の発展にご尽力いただくとともに、地域生活の安全と安心、社会福祉の向上にご貢献を賜り、深く感謝申し上げます。

北本市は、埼玉県中央部に位置し、首都近郊の住宅都市として発展してきました。市街地の外側には緑豊かな里山や田園地帯が広がり、市域の西側には荒川が流れ、都市にほど近い立地でありながらも魅力ある豊かな自然が残るまちです。また、大宮台地の高台に位置し、平坦な地形であることなどから洪水の危険性が低く、地震の計測回数も近隣自治体に比べ少ないなど、埼玉に誇る災害リスクの少ない安全なまちでもあります。近年では、首都圏中央連絡自動車道桶川北本インターチェンジや上尾道路の開通により交通アクセスが向上し、より一層の地域活性化が期待されています。

現在、北本市では、人口減少が全国的に進む中でも持続可能なまちであり続けるため、まちの活力維持に不可欠な若者をターゲットとした、シティプロモーション事業をはじめとする、移住、定住、交流促進事業の推進や子育てに優しいまちづくり等の様々な施策を行っています。

まず、子育てに優しいまちづくりに向けた取組として、今年度は、未就学児を対象としたインフルエンザ予防接種への助成を拡大するとともに、新たに学習支援室を開設し、不登校生徒等の居場所づくりを行うなど、子育て支援環境の充実を図っています。

また、北本に住み続けたいと感じていただくことを目的として、市民のシビックプライドの醸成やまちの知名度、イメージ向上のため、北

本市の緑あふれる暮らしの魅力を伝えるシティプロモーションコンセプト「&green-豊かな緑に囲まれた、ゆったりとした街の中で、あなたらしい暮らしを。」を定め、市への愛着を高めるための事業を展開しています。

昨年度は、シティプロモーション冊子「&green」を発行し、来訪者増加を目的とした観光情報ではなく、緑や自然がそばにある北本の“暮らし”を新しい視点から伝えました。今年度は、より暮らしの魅力を実感していただけるよう、実際に緑と触れ合うワークショップ形式の「&green暮らしの学校」を開催しており、市内外の方からご好評をいただいています。

さらに、YouTube北本市公式チャンネル「&green」で北本の里山に生息する希少な動植物と風景の動画を公開し、多様な生き物に囲まれた北本の緑や自然の魅力をオンラインでも感じていただけるよう工夫を凝らしました。

その他にも、企業との包括連携協定締結による北本の農産物等のブランド化の取組など、市民、民間企業との連携事業を実施しており、本市に愛着を持っていただけるよう、様々な形で情報を発信しています。

本市は、昭和46年11月に市制施行し、令和3年に市制施行50周年を迎えます。今後も北本市に愛着を持ち、住み続けていただけるよう、未来へつなげる事業を展開し、全力で取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしましてご挨拶いたします。

新型コロナウイルス感染症対策

彩の国
「新しい生活様式」

安心宣言団体に認定

新型コロナウイルス感染予防のガイドライン作成を進めていた当協会では、彩の国「新しい生活様式」の安心宣言団体として、6月に県から認定を受けました。

県では、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の取り組み定着化に向けて、企業や団体に感染拡大防止を徹底するガイドラインの作成スキームを構築しています。これに対し当協会は5月より認定に向けて消毒設備や対面場所の遮蔽を設けるなどして準備。6月10日に安心宣言を掲げ同18日、これを県が認定しました。

安心宣言には、三密の徹底回避、感染防止対策、安全設備の設置など8項目の内容のほか、電気設備工事業として独自の項目を列挙しています。

県の要項によれば、建設関連団体は業種別宣言を求めない項目、すなわち感染リスクの低い項目に分類されていますが、当会としては感染予防に徹底して取り組むという姿勢を示すため申請しました。

認定を受け、宣言と認定書を協会HPに掲載。また、事務局に掲載するとともに、各会員に周知して取組内容を広めています。



彩の国「新しい生活様式」安心宣言

～ 私たちは以下のすべてを遵守することを宣言します ～

- | | |
|---|--|
| <p>1 三密を徹底的に回避します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時の換気 ・一定の数以上の入場制限（屋外でお待ちいただきます） ・受付や更衣室、喫煙所での密集防止 ・社会的距離の確保 <p>2 感染防止の対策を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発熱などの症状がある方の制限 ・症状のある従業員の出勤制限 ・手洗いや手指の消毒の徹底、手の触れる箇所の消毒 ・マスクの着用 ・共有する物品などの最小化 ・雨水・雑物のついたごみはビニール袋に入れて密閉 <p>3 安全のための設備にします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入口等に消毒設備、体温計の設置 ・対面場所の遮蔽 ・毎時の換気と消毒の徹底 ・共通タオルの禁止、ハンドドライヤーの使用中止 | <p>4 安心に向けた工夫をします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前予約の最大限の活用 ・衣服のこまめな洗濯 <p>5 行いません、行かせません</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業空間での激しい運動や大声 <p>6 極力制限します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度に休憩する人数の制限 ・対面での食事や会話の制限 <p>7 重症化リスクに配慮します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や持病のある方への配慮（高齢者利用時間の設定など） <p>8 新しい働き方に向け努力します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務やオンライン会議 ・ローテーション勤務、時差通勤 |
|---|--|

業種別宣言

9 電気設備工事業として以下の感染拡大防止策に取り組みます

- ・マスクの着用と手洗い、手指の消毒を徹底します。
- ・出入り口などの手を触れる部分は定期的な消毒を徹底します。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する知識を周知し感染拡大防止策を徹底させます。
- ・出入口等の扉や換気可能な窓を開放し定期的な換気に努めます。
- ・事務所、会議室、研修会場、休憩・休息スペース等において「三密」を避ける対策を徹底します。
- ・従業員や作業員に対して、出勤前に体温や症状の有無を確認させ、適切な健康管理を実施します。
- ・訪問先履歴を明らかにする等感染拡大防止に努めます。
- ・これらのほか、国土交通省が示す「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に沿った対応を実施します。

宣言日：令和2年6月10日

名称：一般社団法人 埼玉県電業協会



マウスシールド6700枚 コロナ熱中症対策で会員に配布

当協会では、熱中症と新型コロナウイルス対策の一環として、ヘルメット装着型のマウスシールド6700枚を会員各社へ配布しました。

マウスシールドは、ベビーカーや電動カートを製造販売する(株)キュリオ（岐阜県岐阜市）の国産製品。

埼玉県業種別組合等応援補助金事業のひとつとして、新型コロナの影響を緩和するため感染防止に加え夏の熱中症対策として配布準備を進め、補助金審査結果を受けて7月に企業対策委員会（橋本幹男委員長）が中心となって行動に移し、1社当たり100枚の合計6700枚を会員67社へ届けました。

コロナ対策として各種講習会にもこの補助金を活用していきます。



マウスシールドを着用して作業する会員技術者

オンラインで初会合 人材育成委が研修予定協議

8月19日、本年度第1回目の人材育成委員会を新型コロナウイルス感染防止の観点からオンライン会議で初開催しました。会合では、新入社員フォローアップ研修など例年実施している催しの今後の動向について話し合いました。

当日は事務局から佐野雄一郎委員長、荒川清江専務理事がビデオ通話ツールの『Zoom（ズーム）』を介して参加。そのほか委員会メンバーが各社の事務所などからオンライン上で参加しました。

冒頭、佐野委員長は「Zoomによる初めての会合ですのでバタつくこともあるかと思いますが、スムーズに進行できるよう努めます。どうぞよろしくお願いします」とあいさつ。

続いて、新入社員フォローアップ研修、電気工事技術研修、浦和工業高校インターンシップの実施の運営などについて協議意見を交わしました。



『Zoom』を活用し初会議

新入社員
研修会

社会人の基礎と安全について学ぶ

事業
主要

佐野委員長

説明。最終日は佐野雄一郎人材育成委員長と荒川清江専務理事から「ビジネスマナーの基本と社会人意識」について指導を受けました。

当会では一企業では難しい初期重点教育をバックアップすることで、社会人として第一歩を踏み出す新人をサポートしています。

当日は新型コロナ対策として、入場時の体温測定、アルコール消毒、換気、1テーブル1人で一定の間隔を保つなど、十分に配慮しながら実施しました。

開講式で佐野雄一郎人材育成委員長は「晴れて入社した皆さんは、これから様々なことを学びながら仕事と社会人生活に慣れていくことになります。今回はまず安全衛生教育を受けて、仕事をする際の安全への考え方を学んでいただきます。マナー講習では社会人と学生の違いやお客さんとの接し方を吸収して活用してください。そしてこれからの仕事に役立てていただければ幸いです」とエールを送りました。

続いて「新型コロナウイルスにより世界的にも国内的にも厳しい状況におかれており開催に悩みましたが、万全の対策をして臨みました。皆さんも十分に配慮して3日間を過ごしてください」と結びました。



安全衛生とビジネスマナーを学んだ

初日は徹底した安全衛生教育を指導。現場に配属される前の座学を中心に教育を展開。講師の小泉氏は「皆さんがこれから仕事を進めるに当たって欠かせない安全衛生の教育を法律に基づきお伝えしたいと思います。しっかりと理解していただきたいと思います」と挨拶。参加者は作業開始時の点検、事故発生時ににおける応急措置の方法などを2日間にわたって確認しました。



講師の小泉氏

最終日の3日目は、社会人としての心構えと自覚を身に付け、企業で働く意味を理解してもらうため、職場でのマナーやエチケットを学び、電話応対や来客対応の基本などを実践。最後に自分の行動計画と業務報告書をまとめました。

最終日の閉講式では、修了証書が授与されるとともに安全衛生教育手帳が交付されました。

ビジネスマナーを再確認

フォローアップ
研修開催事業
主要

9月17日、新入社員フォローアップ研修を研修センターで開催しました。毎年、2日間に分けて実施していますが今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から1日に短縮し、感染対策を徹底した上で実施。社会人としての立場や役割、職場でのエチケットマナーなどを再確認しました。

冒頭、佐野雄一郎人材育成委員長は「今年4月にマナー教育をしてから約5カ月が過ぎました。今日はフォローアップの研修です。今後皆さんがお客さんの



マナーの基本動作を再確認

前に立つ時、どのように接するかを知っているかいないかで最初の印象が変わってしまいます。現場、内勤の方、さまざまだと思いますがマナー講習は大切な内容ですのでしっかりと学んでスキルを身に付けてください」と述べ、有意義な研修を期待しました。

講師は人材教育やイメージコンサルティング、検定対策指導を手掛ける㈱SUGIコーポレイションの杉本直鴻代表。

杉本氏は開始にあたり「マナーは人と人とのコミュニケーションの基本です。いろいろな方と仲良くなるため、また自分自身が傷つかないため、誰とでも仲良くなれる手法の一つと思ってしっかりと受講して下さい」と話し講義に入りました。

研修では、社会人としての立場や役割、職場でのエチケットマナーをテキスト上で理解した後、実践に移して確実なキャリアアップを積むための再教育を受講。6時間に及んだ研修の後、受講者に修了証が授与されました。



杉本講師

コロナ (COVID-19) の先に

Voice

株式会社内村電気 代表取締役 内村貴康

今コロナ (COVID-19: 以下コロナと表記) の中で皆様は、これからの先 (未来) に対してどの様にお考えでしょうか。建設業界は有難い事にコロナの影響は少ないと言われてはいますが、他業種を見ると大会社ですら早期退社を募集する等の処置が行われ、明るい未来を描きづらい世の中になりつつあるというのが現状だと私は考えています。

しかし彩の耀をお読みになられる方は経営に関わる方が多いのではないかと思います。どの様な現状でも明るい未来を描かなければいけないと思います。そこでご存じの方もいらっしゃると思いますが、内閣府が発表したムーンショット計画というものをお話しさせていただきます。

一概にムーンショット計画と話しても多岐にわたりますので、今回は建設業の事のみ記載させていただきますが、ご興味がある方は内閣府のHP (<https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/index.html>) をご確認ください。

右下の表を見て頂ければ分かる通り、2040年までには「建設工事の完全無人化」を発表されています。あくまで計画なので2040年までに完成されずとも私もお考えはしていますが、それ程遅れる事なく実現されると私は考えています。

そうすれば一番高いコストである人件費を多く掛けなくても良くするという未来が待っているのではないかと私は考えています。

今の様なご時世で不安も多くあると思われそうですが、どの時代でも不安はありますので、少しでも明るい未来を描きながら皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

分野	目標	達成時期
ムーンショット型研究開発制度が目指す未来像	サイバー格化技術の実現	2050年まで
	農林水産業の完全自動化	2040年まで
	建設工事の完全無人化	2040年まで
地球環境	地球上からの「ゴミ」の廃絶	2050年まで
	フードロスをなくし、全ての人々に必要な食料を効率的に届ける	
	現在の100分の1の資源口で現在の生活水準を維持	
サイエンス	ノーベル賞級の発見を自律的に行うAI&ロボットシステムの開発	2050年まで
	人工冬眠技術を確立	
	海洋・地下を網羅的、高精度に測定し、可視化・監視	

ムーンショット型研究開発制度が目指す未来像

建設業の担い手育成へ受験準備講習会を開催

1級電気工事施工管理技士

9月2、9、16、23、30日の5日間、1級電気工事施工管理技術検定の受験準備講習会 (学科) を建産連研修センターで開催しました。ケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏を講師に迎え、カリキュラムに沿った講義を聞きながら、過去に出題された試験問題に取り組みました。

開催に際し協会では新型コロナウイルス感染防止対策としてサーモカメラや消毒、アクリル板、間隔、換気を行うなど万全な態勢で実施。5日間ともに午前中に講義をメインに進め、午後は過去の問題を使った模擬試験を受け採点・評価を行いました。



小泉一夫先生

第一種電気工事士

8月21、28日、9月11、18、25日の5日間、第一種電気工事士試験 (筆記) 受験準備講習会を開催しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏。開催に際し、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に取りながら実施。カリキュラムに沿った講義を聞き、過去に出題された試験問題に取り組みました。

5日間ともに午前中に講義を実施し、高圧受電設備、配線図・制御回路、電気機器、電気工事の施工方法などを学びました。午後には過去の問題を使った模擬試験のほか、個人別に学習指導を受けました。

2級電気通信工事施工管理技士

9月7、14、28日の3日間、建産連研修センターで2級電気通信工事施工管理技術検定試験受験準備講習会を開催しました。開催に際し新型コロナウイルス感染防止対策を徹底。SEEDO代表の関根康明氏は、全員合格に向けてエールを送りながら講師を務めました。

初日はガイダンスのほか、電気通信工学、電気通信設備などを中心に解説。続いて2日目は関連分野、施工管理法、法規について。3日目には実地試験の対策として施工管理法についてレクチャーしました。



関根康明先生

第二種電気工事士

8月17、24、31日の3日間、第二種電気工事士試験受験準備講習会を開催しました。講師の関根康明先生 (SEEDO代表) は「上期はコロナの関係で試験そのものが中止となりました。下期に向けて頑張りましょう」とエールを送りながら3日間のスケジュールを伝えました。

まず初日には試験の概要を示した後、配線図を中心に説明。2日目は機器や鑑別、電気工事の施工方法など。3日目には電気に関する基礎理論などを学び、最後に総まとめとして模擬試験問題を解き理解を深めました。

協会のうごき

5月

12日 第2回理事会
28日 令和2年度定時総会／第3回理事会

6月

16日 第4回理事会／正副委員長会議

7月

14日 応援補助金事業担当委員長会議
21日 第5回理事会

8月

19日 第1回人材育成委員会(オンライン)

9月

7・14・2級電気通信工事施工管理技術検定試験
28日 受験準備講習会

15日 第6回理事会
17日 新入社員フォローアップ研修
28日 第1回事故防止対策委員会
災害復旧対策講習会
優秀安全管理者表彰

10月

2・7・14・2級電気工事施工管理技術検定試験
18・26日 受験準備講習会

8日 フルハーネス型安全帯使用作業特別教育
9日 第1回総務委員会
20日 県設備課との意見交換会
第7回理事会
24・25日 登録電気基幹技能者認定講習
27日 第1回技術研究委員会
第1回技術講習会
28日 低圧電気取扱者特別教育

埼玉県認定職業訓練事業

第二種電気工事士試験受験準備講習会(筆記コース×3回)	8月17・24・31日
第一種電気工事士試験受験準備講習会(筆記コース×5回)	8月21・28日、9月11・18・25日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース×5回)	9月2・9・16・23日

(一社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (14社)

旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
○大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
埼玉田中電気(株)(南区)
埼玉電設(株)(中央区)
栄電業(株)(上尾市)

新生電気工事(株)(見沼区)
◎(株)積田電業社(浦和区)
中村電設工業(株)(岩槻区)
(株)万代電気工業(桜区)
(株)丸電(西区)
瑞穂電設(株)(北区)
○(株)八洲電業社(北区)

東部支部 (12社)

(株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)

倉持電気(株)(三郷市)
(株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
(株)新電気(三郷市)
◎(株)大広電気(八潮市)
太洋電設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
ニチデン技術サービス(株)(北本市)
○深井電気(株)(北本市)
(株)弓木電設社(白岡市)

西部支部 (18社)

○飯島電器工事(株)(川越市)
◎(株)市之瀬電設(志木市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
熊田電気工事(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
相馬電業(株)(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
○橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部 (7社)

◎内山電設(株)(川口市)
(株)奥富電気工事(川口市)

(株)佐久間電設(川口市)
佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
○那須電機工業(株)(川口市)

北部支部 (16社)

イーテクノス(株)(熊谷市)
○(株)イトラスト埼玉(行田市)
(株)内村電気(深谷市)
(株)エコー(深谷市)
共和電機(株)(秩父市)
熊谷電機(株)(熊谷市)
(株)栗原電機(深谷市)
霜田電気(株)(皆野町)
中外電気工業(株)(深谷市)
(株)東電工業社(熊谷市)
(株)長井電機(熊谷市)
(株)沼尻電気工事(深谷市)
(株)早川電工(鴻巣市)
松山電設(株)(東松山市)
ムサン電機工業(株)(行田市)
◎(株)躍進電気(深谷市)



建築設備3団体が県へ分離分割発注を要望

9月11日、当協会と(一社)埼玉県空調衛生設備協会、(一社)埼玉県設備設計事務所協会の建築設備3団体合同で、『分離分割発注に関する要望書』を、大野元裕知事をはじめ、県会議長、県土整備部長、都市整備部長などの主要部局に提出しました。



大野知事(右から2人目)と3団体会長